

1年前、研修の申し込みをした時は歯科衛生士2年目でした。やっと医院の仕組みに慣れてきた位の私が海外研修に行って大丈夫だろうか？と思っていたところ「いいんだよ、行こう。」と院長が言ってくれ、今後スウェーデンまで勉強に行ける機会は無いかも、院長についていこう、と参加を決めました。そしてあっという間に出発の日に。

研修初日は移動の疲れもあり、初めての場所に大人数で、英語、通訳、と慣れていない環境に記憶が薄いの正直なところです。まだまだ内容の振り返りもできていない中での感想になります。

どの講義も分かりやすかったのですが印象に残ったのは、カリエスのグローバルスタンダード、疑わしきは待て。歯の年齢により進行は異なる、若い歯の進行は早いこと。隣接面カリエスが多ければ多いほどそのどれかが近い将来進行する。しかし今現在も分からないことはあり、術者の直感も大切だ。カリエス治療の介入の時期。患歯の治療時隣在歯が傷ついてカリエスになる場合がある。ステップワイズエクスカベーションについて。スウェーデンの歯科は開業医と公立があり、公立の場合は、リスクに応じて月払いの金額が変わってくる。スウェーデンのDH, DNの仕事内容、チーム治療。などもっと沢山のお話がありました。DHとしてはカリオグラムとハンズオンで知識の確認、フッ化物については知識の追加ができ、今後日本での使用方法も併せて復習していかなければと思いました。

講師の先生方は優しくユーモアたっぷりにお話して下さるので、講義が楽しかったです。特にエリクソン先生はLunchtime 食堂で並んでいると先に譲ってくれたり、私が歯磨きしているとgoodとにっこりしてきたり、講義以外でも紳士的で優しくすっかりファンになってしまいました。ピーター先生は私が質問を色々したからか「君もMMA大学で学びたい？」と聞いてきたのでyes!と即答しました。先生たちは小さなことにもこやかに対応して下さりとても嬉しく、いい思い出です。

海外へろくにいったことのない私は不安だらけでしたが、研修を終えた今、沢山の出会いと学びに感謝しています。とても充実した時間を過ごすことができ、今回MMA研修への参加を決めて本当によかったです。また、スタッフに今回の研修内容を伝えることでしっかりと知識を自分のものにして、医院というチームで予防歯科をやっていかなければと思いました。今後も勉強して患者さんの健康に役立てていけるよう、自分自身も成長できるよう努力していきます。ありがとうございました。